

# 鎌倉市交通計画検討委員会専門部会

## 【第21回】

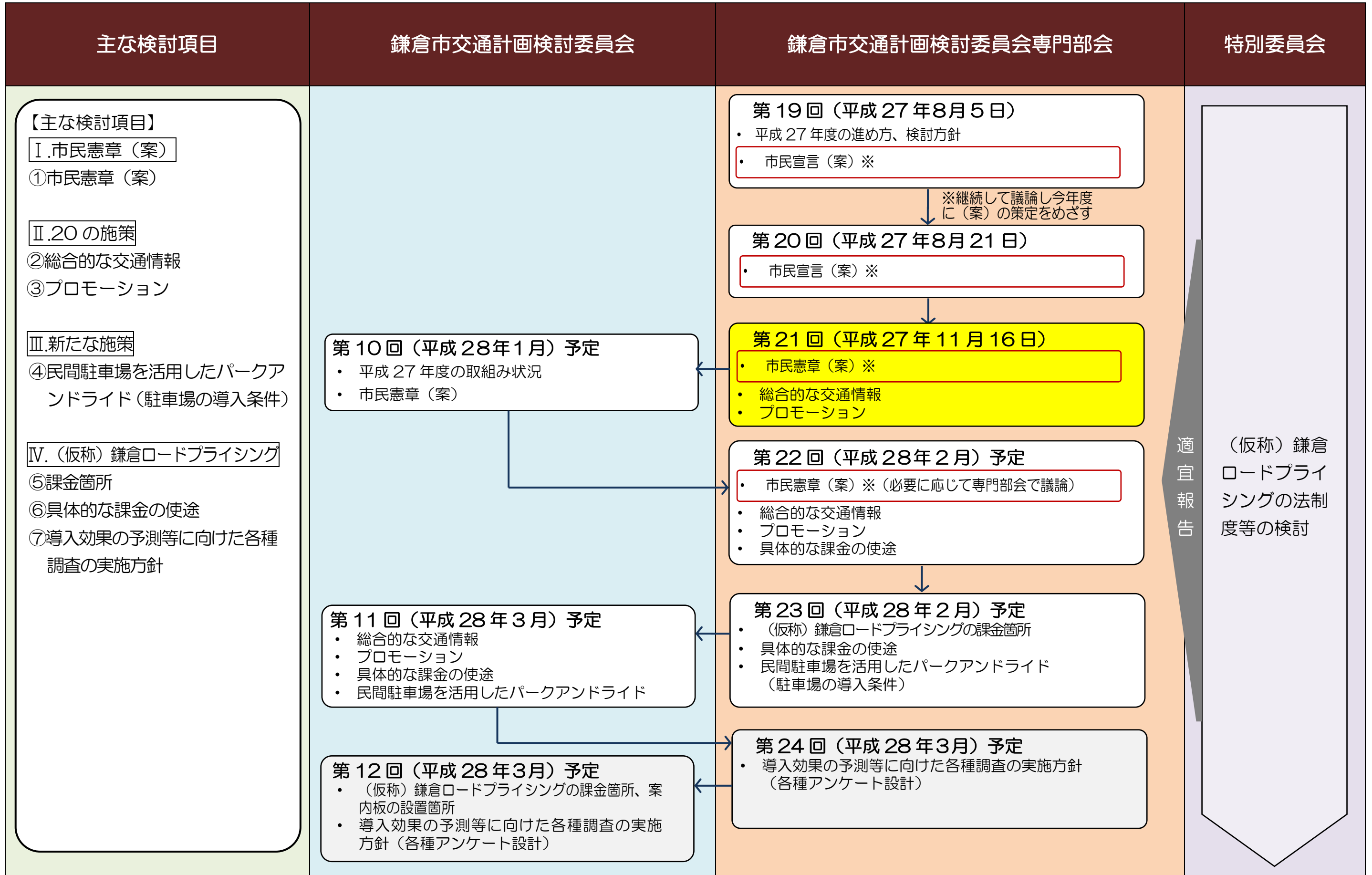
### (目次)

1. 平成27年度の進め方(案) .....	1
2. 市民憲章(案)に関する第20回専門部会の主な意見.....	2
3. 市民憲章(案)について .....	3
4. 20の施策について.....	5
1) 総合的な交通情報.....	5
2) プロモーション.....	8

平成27年11月16日(月)



# 1. 平成27年度の進め方（案）



☆特別委員会の進捗状況によって、検討する内容や開催時期が変更になる可能性があります。  
 ☆第21回専門部会以降、市民宣言は市民憲章とします

## 2. 市民憲章（案）に関する第20回専門部会の主な意見

♠：委員からの発言、◆：部会長の発言、♣：事務局の発言

### ◆役割・位置づけについて

- ♣「宣言」は、ある団体や議員等の請願等を議会が全会一致で採択し、市が宣言するものである。「憲章」は、市長や行政が市民から意見を頂きながら作成し、議案を可決して制定を行う。
- ♠「憲章」は理想として定めた大本の決まりとなるので憲章の方が良い。
- ♣「憲章」として位置づける。

### ◆市民への周知

- ♠憲章を制定する際に周知が重要。（仮称）鎌倉ロードプライシングだけでなく、市民憲章の話題を市民がほとんど知らないということではいけない。絶えず市民への周知が必要である。
- ♣憲章（案）についての検討結果を市長に報告した上で、市民に説明することが重要である。
- ◆広く周知するために、次回の委員会で議論し「案」をつけた状態で公表しても良いのではないか。

### ◆実施時期

- ♠（仮称）鎌倉ロードプライシングと併せて情報発信した方が良い。但し、「（仮称）鎌倉ロードプライシングのためだけの憲章ではない」ということを最後に付け加えるべきである。
- ◆時期は多少ずれることもあるので、「同時期をめざす」とする。

### ◆主体

- ♠市長が提案して議案を可決するとなれば、行政が主体となるのは分かる。本文に「私たち」と表現すれば市民も協力して実行すると受け止められる。
- ◆本文の最後は「鎌倉市」とする。

### ◆ネーミング

- ♠「歩いて楽しいまち、鎌倉」は、鎌倉というのを強く打ち出しているのが良い。
- ♠歩道は混みすぎているので、鎌倉全域を示す言葉が良い。
- ♠市民意識を高める意味では「楽しい」が文中にあっても良いが、表題は憲章として広く捉えられシンプルな「歩くまち鎌倉」が良い。
- ◆ネーミングは最終的に委員会で決めて頂くので、専門部会としては1つに絞らない。

### ◆構成

- ♠市民と来訪者の車利用の自粛に限ったような構成は、非常に狭義な憲章になってしまう。もう少し広い意味を持たせた方が良いので、枠組みを決めない方が良い。共通認識として、自動車利用の抑制が柱だというのは全員理解していると思う。
- ◆構成をはじめから固定して考えない。

### ◆本文

- ♠「電車やバスの利用がしやすく…」を「電車やバス、タクシーの利用がしやすく…」として頂きたい。
- ◆「電車やバスが利用しやすく…」は「タクシー」を追加、若しくは「公共交通」とする。
- ♠道路整備は難しいから整備しないと捉えられないように、「十分な道路整備」としてはどうか。
- ♠憲章は鎌倉地域に限定した書き方にしない方が良い。鎌倉地区は「鎌倉」でも良いのではないか。
- ♠交通を整備する憲章ではなく、歩くまちをめざすので、「交通」があまり前面に出ない方が良い。
- ♠文章はなるべく簡素にした方が良い。
- ◆鎌倉地域の表現は「古都鎌倉」とする。

### 3. 市民憲章（案）について

市民憲章は、第20回専門部会での議論を踏まえ、基本的な考え方と本文の事務局（案）を作成しました。  
 本日は、第10回検討委員会に向け事務局（案）について議論します。

**【進め方】**

- ①基本的な考え方の『制定の目的』から『実施時期』までの事務局（案）を再確認します。
- ②本文を議論し、それに合ったネーミングを3案程度に絞り込みます。

**基本的な考え方**

項目	内 容
■制定の目的	鎌倉地域は、休日を中心に自動車交通量が集中し、著しい交通渋滞が発生しており、バスの定時性・速達性の低下、緊急車両の遅れなど、市民生活に大きく支障をきたし、移動の自由が奪われています。 その抜本的な解消が期待される、自動車利用の抑制策（〔仮称〕鎌倉ロードプライシング）を実施し、来訪車両の公共交通への転換を促します。 その協力を促すためには、先ず市民や行政が進める自動車利用の自粛や取組みの精神を来訪者に広くアピールすることが必要です。
■役割・位置づけ	議会で議案として委員会に諮り可決する「憲章」の制定をめざします。
■制定の手順	① 検討委員会で議論した憲章（案）を公表し、市民に広くアピールします。 ② 市民アンケートやパブリックコメント等を実施し、市民からの意見を聴取します。 ③ 「憲章」を市長が提案し、議会で議案として委員会に諮り可決することをめざします。
■実施時期	（仮称）鎌倉ロードプライシングによる来訪車両への理解と協力を求めるため、同時期をめざします。
■主体	全市民と鎌倉市（行政）の協働とします。
■ネーミング	※これまでの専門部会で挙げたネーミングの鎌倉地域等を古都鎌倉とし、以下に整理しました。また、事務局（案）を追加しました。 <<これまで専門部会で挙げたもの>> ・「歩くまち・古都鎌倉」市民憲章 ・「歩いて楽しいまち、古都鎌倉」市民憲章 ・「歩いて楽しい古都鎌倉 市民憲章」 ・「市民憲章 - 歩いて、楽しむ・古都鎌倉 - 」 ・「歩こう古都鎌倉憲章」 <<事務局（案）>> ・「古都鎌倉 交通市民憲章」 ・「徒歩と公共交通でめぐる古都鎌倉」市民憲章
■本文	委員からの「たたき台」及び、専門部会で議論した意見を基に事務局（案）を作成しました。（次頁参照）

検討委員会に向け本文を踏まえ  
 新たな案を含め3案程度に絞り込みます。

- 
- 
-

## 本文

【市民宣言(案)】(鎌倉地域の地区交通計画に関する提言平成8年5月)

### 鎌倉地区交通 市民宣言(案)

私たち鎌倉市民は、自らの自動車利用を自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした新しい街づくりを進めることを宣言します。

その実現に向けては地区で働く人達や遠来の顧客とともに手を携えて進めます。

私たち鎌倉市民は、

「歩いて楽しい街」、

「静かできれいな街」、

「子供や高齢者にやさしい街」、

「電車やバスが利用しやすい街」、そして

「市民と遠来の顧客が共生しやすい街」をつくります。

私たち鎌倉市民は、この宣言の精神が湘南地域へそして全国に広まることを願います。

平成〇年〇月

鎌倉市

【専門部会委員(案)】

### 「歩いて、楽しむ・鎌倉地域」市民憲章(案)

私たち鎌倉市民と行政は、古都鎌倉の歴史的・文化的遺産を保存し、恵まれつつも特異性を持つ風土を保全して、次代に継承すべく努めてきました。

同時に、悪化する交通環境と闘ってきました。中でも、鎌倉地域は特有の都市構造により、前述の自然的・歴史的環境の保全と道路整備の両立が難しい状態にあり、地域住民の生活を脅かす事態に至っています。加えて、同地域の観光特異性がそれに輪をかけています。

ここに私たちは、鎌倉地域の交通に際して、自らの自動車利用を自粛し、徒歩と公共交通を中心とする交通環境を創り、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした新しいまちづくりを進めることを宣言します。

その実現に向けて、以下の事項を掲げ、鎌倉地域の交通に関わりのある多くの人達の理解を得て、ともに手を携えて進めます。

1. 歩いて楽しいまち、賑わいと活力のあるまち

1. 人と環境にやさしいまち

1. 子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまち

1. 電車やバスの利用がしやすく、移動に便利なまち

1. 市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまち

私たちは、この宣言の精神が湘南地域へ、そして全国に広まることを願います。

【事務局(案)】

### 「〇〇 〇〇憲章(案)」

私たち鎌倉市民は、先人から受け継いだかけがえのない古都鎌倉の歴史的遺産や風土を、次代に継承すべく努めてきました。同時に、悪化する交通環境とも闘ってきました。

この歴史的遺産等の保全のために、道路整備が十分に進んでおらず、休日を中心に来訪車両が集中し、快適な生活環境に支障をきたすとともに、移動の自由が奪われているのが現状です。

そこで、自動車中心から徒歩と公共交通を中心とした交通環境をめざし、古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした世界に誇れるまちづくりを進めるために、ここに『〇〇 〇〇憲章』を定めます。

1 「公共交通が利用しやすく、歩いてたのしい、賑わいと活力のあるまち」

1 「子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまち」

1 「市民と来訪者が共存でき、楽しく触れあえるまち」をつくります

その実現に向けて、私たち自らが過度な自動車利用を控えるとともに、古都鎌倉の交通に関わりのある多くの人たちの理解を得て、ともに手を携えて進めます。

鎌倉市



## 4. 20の施策について

これまでの鎌倉市交通計画検討委員会では、『総合的な交通情報』に関して、スマートフォン等の活用や鎌倉フリー環境手形等の電子決済等が議論されましたが、費用等が課題となり実現化には至っていませんでした。その後、民間の無料アプリケーションが作成されるなど、こうした既往のものを活用することにより、その実現化が高まると考えられます。

そこで、『総合的な交通情報』と『プロモーション』について、これまでの検討や既の実施している施策の状況を踏まえ、今後の取組みについて議論します。

### 1) 総合的な交通情報

目的	施策方針	既の実施している交通情報の提供	今後の取組みの論点														
鎌倉地域への来訪者に対して公共交通への転換を促す （来訪者向けの情報提供）	多様な情報を的確かつ迅速に伝えるためには、ワンサイトでの提供が必要です。こうした情報は、来訪者が行動プランを立てる段階（事前）と来訪中（リアルタイム）に必要であり、パソコンのホームページやスマートフォンのアプリケーションによる提供をめざします。	<p>【鎌倉市のホームページ】※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トップページに『交通情報等』の見出しを追加し、以下の交通情報を提供</li> </ul> <table border="1" data-bbox="1041 793 2119 1310"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(公財)日本道路交通情報センター（外部サイトへリンク）</td> <td>・ 1日ごとの高速道路の渋滞予測 ・ 5分おきに更新される主要な道路の、旅行時間情報、規制情報</td> </tr> <tr> <td>過去の渋滞状況</td> <td>・ 交通渋滞の発生が著しい平成25年1月12日（土曜日）、13日（日曜日）の時間帯別の渋滞状況</td> </tr> <tr> <td>GoogleMap（外部サイトへリンク）</td> <td>・ 過去の情報に基づき推定された曜日と時刻別の渋滞情報 ・ リアルタイムの渋滞情報、所要時間</td> </tr> <tr> <td>パークアンドライド</td> <td>・ 位置、料金等の詳細な情報</td> </tr> <tr> <td>鎌倉フリー環境手形</td> <td>・ サービス内容、料金等の詳細な情報</td> </tr> <tr> <td>観光バスの駐車場予約のお願い</td> <td>・ 観光バス駐車場の案内情報</td> </tr> </tbody> </table> <p>【鎌倉市観光協会のホームページ】※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トップページの『アクセス』⇒『電車で』⇒『電車利用のお得情報』に1日乗り降り自由なフリーパス等のリンクあり</li> <li>・ 同様に『アクセス』⇒『マイカー、バスで』⇒『駐車場のお得情報』にパークアンドライドのリンクあり</li> </ul> <p>【江ノ電のホームページ】※</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ トップページの『お得なきっぷ』⇒1日乗り降り自由なフリーパスやパークアンドライド、鎌倉フリー環境手形の情報あり</li> </ul> <p>ほか JR 東日本、京急バスなどでも交通情報の提供あり ※スマートフォン対応あり</p>	項目	内容	(公財)日本道路交通情報センター（外部サイトへリンク）	・ 1日ごとの高速道路の渋滞予測 ・ 5分おきに更新される主要な道路の、旅行時間情報、規制情報	過去の渋滞状況	・ 交通渋滞の発生が著しい平成25年1月12日（土曜日）、13日（日曜日）の時間帯別の渋滞状況	GoogleMap（外部サイトへリンク）	・ 過去の情報に基づき推定された曜日と時刻別の渋滞情報 ・ リアルタイムの渋滞情報、所要時間	パークアンドライド	・ 位置、料金等の詳細な情報	鎌倉フリー環境手形	・ サービス内容、料金等の詳細な情報	観光バスの駐車場予約のお願い	・ 観光バス駐車場の案内情報	<p><b>論点1</b> 追加すべき交通情報があるか</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎌倉市の交通情報に各種交通事業者のサービス情報を追加（一元化）</li> <li>・ 道路のライブ映像（リアルタイムの交通渋滞情報の提供）</li> </ul> <p><b>論点2</b> 情報発信をどのように行えば効果的か</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎌倉市の交通情報を既存の観光アプリ等（7頁参照）に提供</li> <li>・ TV番組等の最後に公共交通での来訪案内（情報メディアの活用）</li> </ul> <p><b>論点3</b> 追加すべきサービスがあるか</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎌倉フリー環境手形等のWeb購入</li> <li>・ パークアンドライド駐車場のネット予約</li> </ul>
項目	内容																
(公財)日本道路交通情報センター（外部サイトへリンク）	・ 1日ごとの高速道路の渋滞予測 ・ 5分おきに更新される主要な道路の、旅行時間情報、規制情報																
過去の渋滞状況	・ 交通渋滞の発生が著しい平成25年1月12日（土曜日）、13日（日曜日）の時間帯別の渋滞状況																
GoogleMap（外部サイトへリンク）	・ 過去の情報に基づき推定された曜日と時刻別の渋滞情報 ・ リアルタイムの渋滞情報、所要時間																
パークアンドライド	・ 位置、料金等の詳細な情報																
鎌倉フリー環境手形	・ サービス内容、料金等の詳細な情報																
観光バスの駐車場予約のお願い	・ 観光バス駐車場の案内情報																

参考. 交通施策の情報入手方法や認知度（平成24年度に実施したアンケート調査結果）

平成24年度に行った駐車場利用者アンケート調査では、観光客のパークアンドライドや鎌倉フリー環境手形の認知度は50%以下であり、認知度を高めることが課題です。一方で、パークアンドライドは鎌倉市のホームページから情報を入手している人が最も多いなど、その有効性が確認されました。

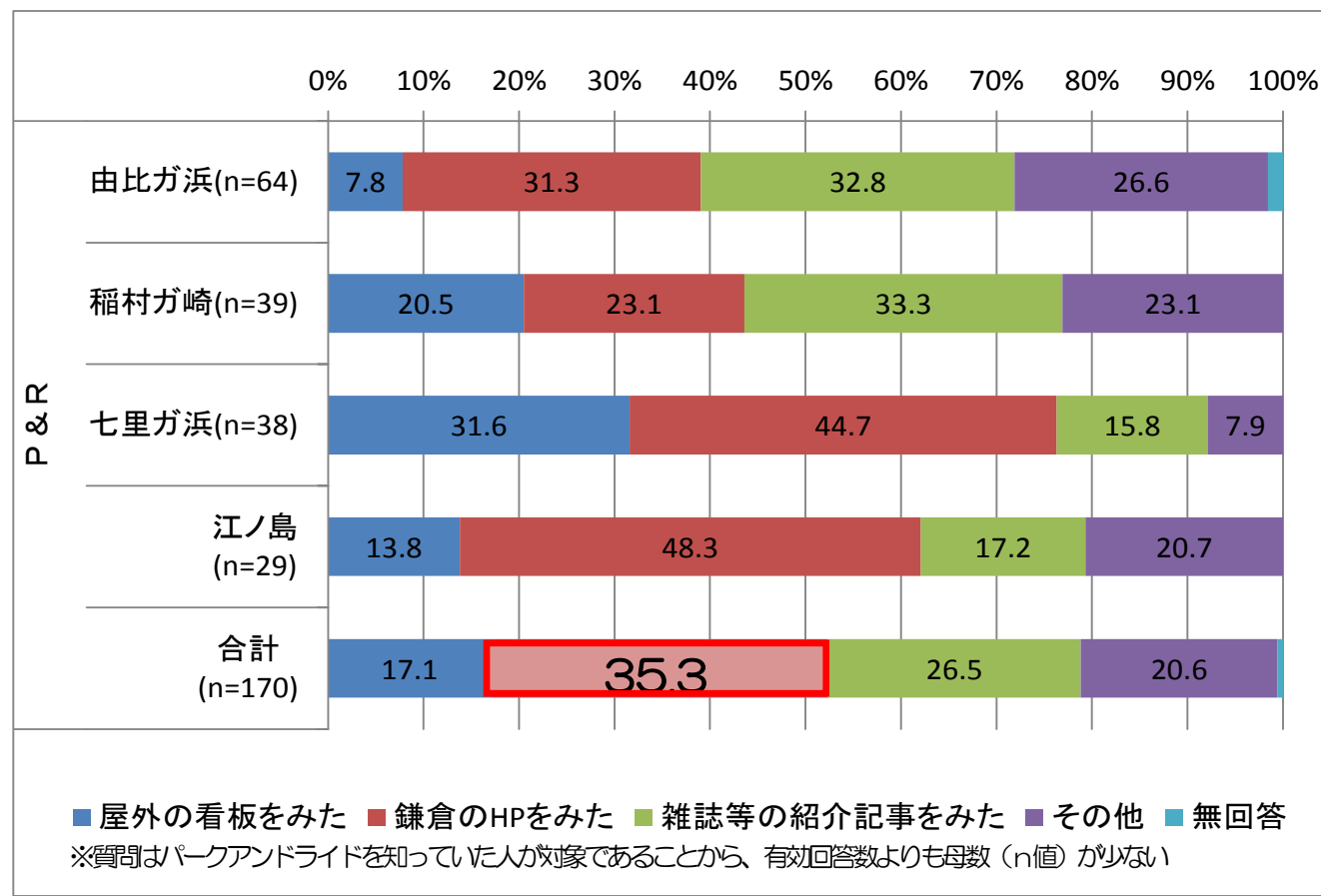
《調査概要》 期間：平成24年11月3日～25日（日）

※市役所駐車場利用者アンケートは土日祝日のみ

◆対象	パークアンドライド駐車場利用者 (江の島、七里ガ浜、稲村ガ崎、由比ガ浜)	市役所駐車場利用者
◆配布数	965票	1,000票
◆有効回答数	247票	497票
◆回収率	25.6%	49.7%

◆パークアンドライドを知った理由

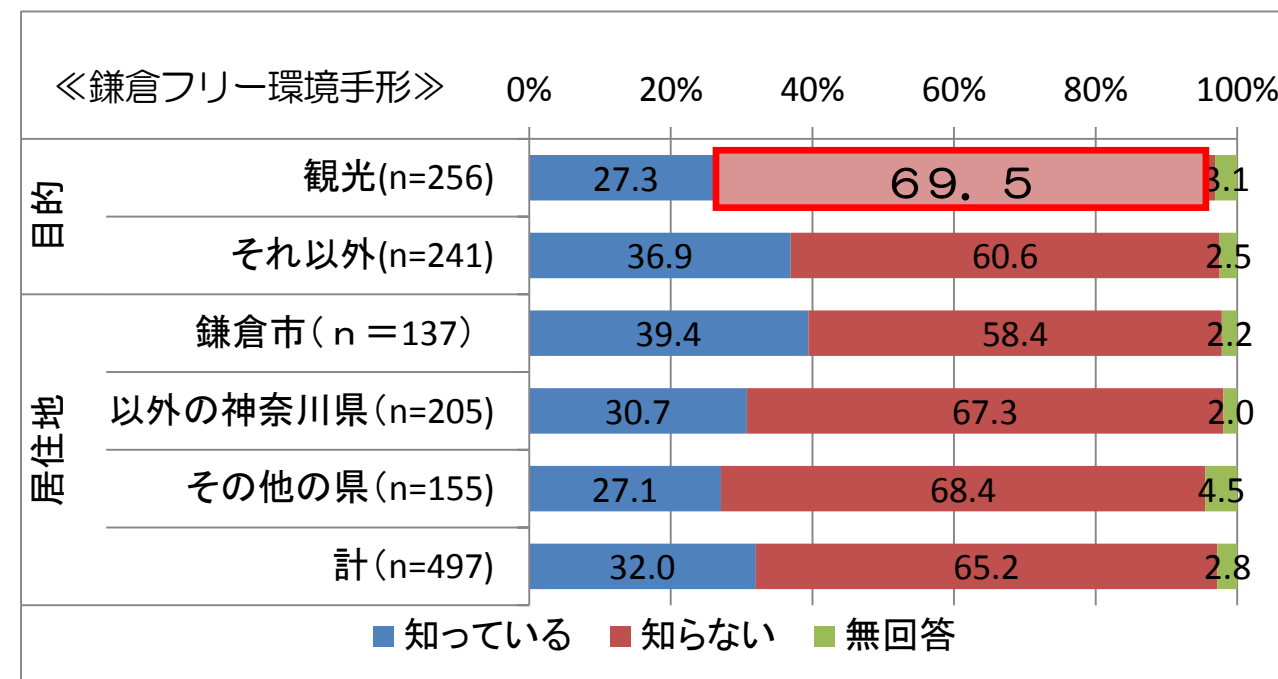
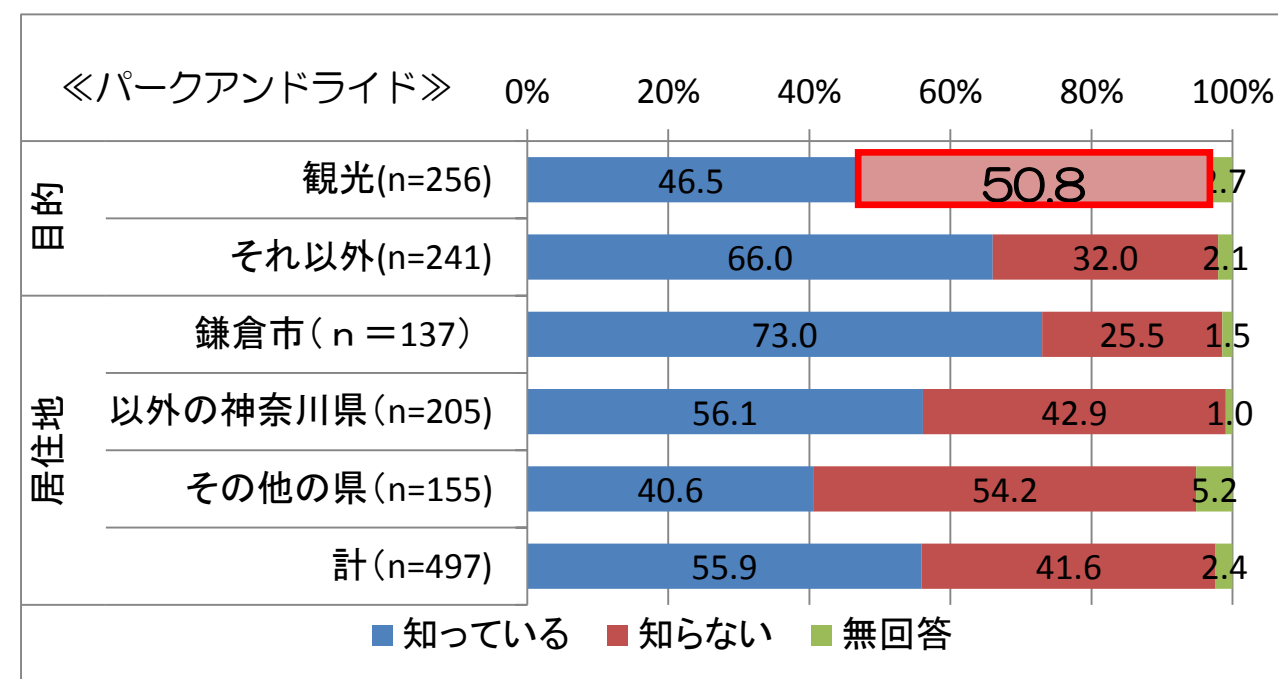
4箇所合計で『鎌倉市のHPをみた』が35.3%で最も多くついで、『雑誌等の紹介記事をみた』が26.5%であった



資料：パークアンドライド駐車場利用者アンケート調査結果

◆交通施策の認知度

パークアンドライドは利用者の50.8%、鎌倉フリー環境手形は69.5%が知らないと回答



資料：市役所駐車場利用者アンケート調査結果



参考. 鎌倉のスマートフォン用観光アプリ（無料）の事例

街の歴史をアプリで辿る。  
あなたの旅をもっと楽しく。もっと深く。

FUJITSU

スマートフォン用観光アプリ  
**街めぐ**  
鎌倉編

元鎌倉世界遺産登録推進協議会広報部長 内海恒雄先生監修

名所、旧跡、絶景スポット。みどころいっぱいの散策を満喫するのなら、事前の下調べは必須！スマートフォン用観光アプリ「街めぐ」は、マップ機能とルート&音声ガイド、豊富なデータであなたの旅の発見がより深くなるよう事前学習と散策案内をお手伝いします。初回リリースは、鎌倉にゆかりがある歴史上の人物の足跡を辿る鎌倉編。鎌倉時代当時の人々に思いを馳せながら、貴重な歴史遺産を巡ってみてはいかがでしょうか？

◆重要人物像にせまる最適コースをマップに表示。(※)  
◆散策前に事前学習。テキスト、図解、音声で詳しく解説します。  
◆撮影した写真をアルバムに保存。散策記録が手軽に作れます。

※初回リリースは源頼朝コースと北条政子コースです。

推奨動作環境 Android OS: 2.3 以上 または iOS: 4.3 以上

shaping tomorrow with you  
社会とお客様の豊かな未来のために

All Rights Reserved. Copyright © FUJITSU NETWORK SOLUTIONS LIMITED 2014

無料

アプリを今すぐダウンロード！

Android版 iOS版

初回リリースは「鎌倉編」。日本の歴史の転換期を生きた源頼朝とその妻、北条政子の足跡を辿ります。

スマートフォン用観光アプリ  
**街めぐ**

スマートフォン用観光アプリ

ルート&音声ガイド  
Navi機能では、現在地とスポットを巡る最適ルートを表示。各スポットでの解説は文字に加えて音声もサポートし、ガイドを聞きながら散策ができます。

旅の思い出を簡単に記録  
旅の記録はアプリにおまかせ。周遊の軌跡と撮影した写真は地図上に自動保存され、後の振り返りに使えます。

アプリで発見、アプリで記録。  
鎌倉がもっと楽しくなる。

お役立ち外部情報にリンク  
トイレマップや津波ハザードマップなどのサイトにリンク。いざ！という時に役立つ情報に素早くアクセスできます。

目的地との位置関係をARで把握  
目的地までの一定距離内でカメラをかざすと、AR（拡張現実）機能で目的地の方向と距離がフキダシ表示され、自分と目的地との位置関係を把握できます。

スマートフォン用観光アプリのメリット

ポイント1 公共交通の利用促進を図る  
⇒パークアンドライドや鎌倉フリー環境手形、交通事業者発行のフリーパス等の情報を提供します。これらの利用が促進され、自動車から公共交通への転換を促します。

ポイント2 機能の一つとして使ってもらえる  
⇒既存の観光用アプリとすることで初期開発費を抑えられます。  
⇒多くの人の利用する機会が増える

ポイント3 改善点や意見をいただける  
⇒レビュー等の書込みにより改善点の報告を受けられます。



## 2) プロモーション

目的	施策方針	これまで実施してきたプロモーション（平成 23 年度以降）	今後の取組みの論点
<p>交通施策に対する市民や来訪者の関心を高め、理解や共感を得るための PR やキャンペーン、情報を発信する （市民、来訪者に対する広報活動）</p>	<p>鎌倉地域の交通環境の改善に向け、来訪車両の公共交通への転換や市民の自動車利用の自粛を促すため、鎌倉地域の実情や取組みを広く周知します。</p> <p>また、交通施策の効果で自動車交通量が抑制された際には、路線バスの定時性・速達性の確保や歩きやすい歩行空間が実現されます。こうした体験を通じて自動車利用者へ理解をより深めることも重要です。</p>	<p>◆鎌倉市の取組み</p> <p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 検討委員会、専門部会等の資料、会議録の情報提供</li> <li>➢ 「鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめ」の公表</li> <li>➢ 交通計画ニュースの発行（第 1 号～第 3 号）</li> </ul> <p>【シンポジウム、ワークショップの開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 平成 23 年 10 月 19 日『どうする！ 休日の鎌倉の交通渋滞 ～地域の活性化につながる交通政策を考える～』のシンポジウムの開催（参加者 100 名）</li> <li>➢ 平成 24 年 2 月、3 月に「鎌倉中心部のにぎわいと混雑」についてのワークショップの開催（参加者 74 名）</li> </ul> <p>【社会実験の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 平成 26 年 5 月 3～5 日 新規循環バス「スーバ」の社会実験を実施することについて市ホームページやチラシなどで案内を行い、沿道住民をはじめとする市民や来訪者に PR した。</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>今後の取組みの論点</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>論点 1</b> 情報発信をどのように行えば市民や来訪者の関心を高められるか</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページのトップページに「交通施策」に関する見出しを付ける</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>論点 2</b> PR やキャンペーンをどのように実施すべきか</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民、来訪者の参加型イベントの実施（カーフリーデー、公共交通利用促進キャンペーンなど）（次頁参照）</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>論点 3</b> 内容についてはどのようなことを行うか</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の紹介について</li> <li>・鎌倉市の交通実態について</li> </ul> </div>



・四国統一公共交通利用促進キャンペーン 2014

国土交通省 四国運輸局企画観光部交通企画課

地域の公共交通の活性化・再生は、高齢者をはじめとする地域住民の自立した日常生活の確保、活力あるまちづくりの実現、観光振興による地域の活性化、環境問題への対応の一つとして、バスや電車に親しむ機会を通じ公共交通機関の利用を促進するため、四国公共交通利用促進協議会では、平成26年9月14日(日)から約1ヶ月間、四国統一公共交通利用促進キャンペーンを実施した。

・さいたまカーフリーデー2015 (カーフリーデーの実施)

さいたま市 交通政策課

鎌倉市で同様のキャンペーンを行う際のポイント

ポイント1 対象は「鎌倉市民」向けのキャンペーンをするべきか

⇒鎌倉市民のみならず来訪者への公共交通利用を促す主旨であれば、近隣市などの来訪者を対象とすることも有効である。

ポイント2 どういった場所や機会に開催するのか

⇒鎌倉市民向けに実施するのであれば、市の他課や関連組織で運営するイベントにブース等を借用し開催することも考えられる。

鎌倉市外で実施することはプロモーション効果としては有効ではあるが、開催場所等の選定で課題がある。